



# 奄美市総合計画【後期基本計画】

自然・ひと・文化が共につくるきよらの郷

～太陽の恵みのもとで、ゆったりとくらす人々が、自然の声を伝えていくまち～

## 検証報告書

【内部検証結果】

<概要版>

令和4年3月



1-1	本報告書の趣旨	3
1-2	奄美市総合計画（後期基本計画）の体系	4
2-1	まちづくりの将来目標についての検証（人口）	5
2-2	まちづくりの将来目標についての検証（交流人口）	7
2-3	まちづくりの将来目標についての検証（総生産額）	9
3	各章における計画目標の達成状況	11

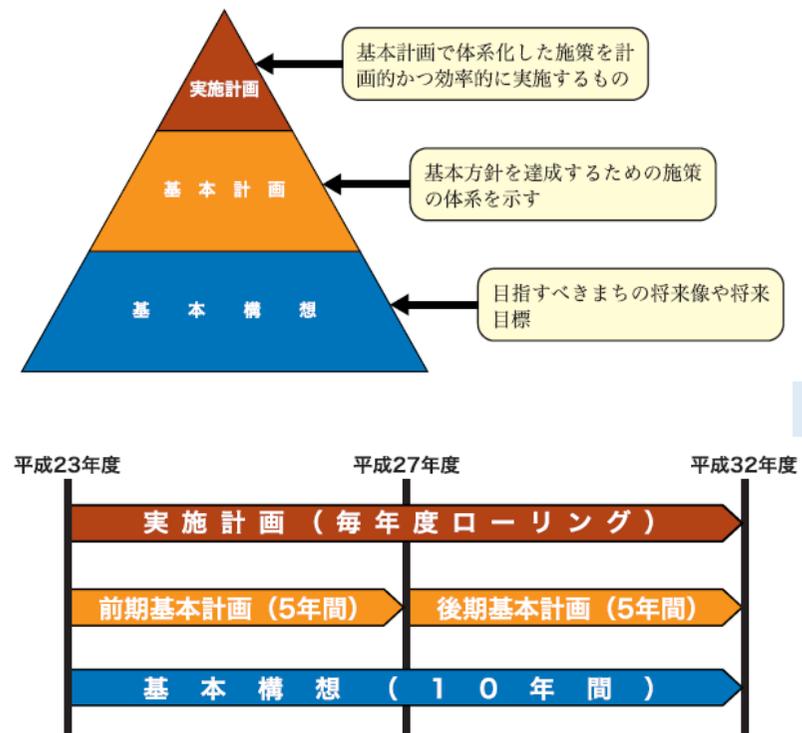
奄美市は、平成18年3月20日に名瀬市、住用村及び笠利町の1市1町1村の合併により誕生した。そして合併時に策定した「奄美市市町村建設計画」において、市の将来像を「自然・ひと・文化が共につくるきよらの郷」と定め、その実現に向けた「奄美市総合計画」を平成23年に策定した。

総合計画は、将来にわたる本市のあるべき姿や今後のまちづくりの方向性を明らかにする羅針盤であり、総合計画を構成する基本構想に関しては、市町村建設計画と並ぶ、市政の総合的な経営指針となる最上位の計画としての位置付けである。

総合計画は、基本構想、基本計画（前期・後期）及び実施計画をもって構成されており、基本構想については平成23年度から令和2年度の計画期間となっている。基本構想では、上述の市の将来像と併せ、まちづくりの将来目標として、令和2年における人口、交流人口、総生産額の3つを設定している。

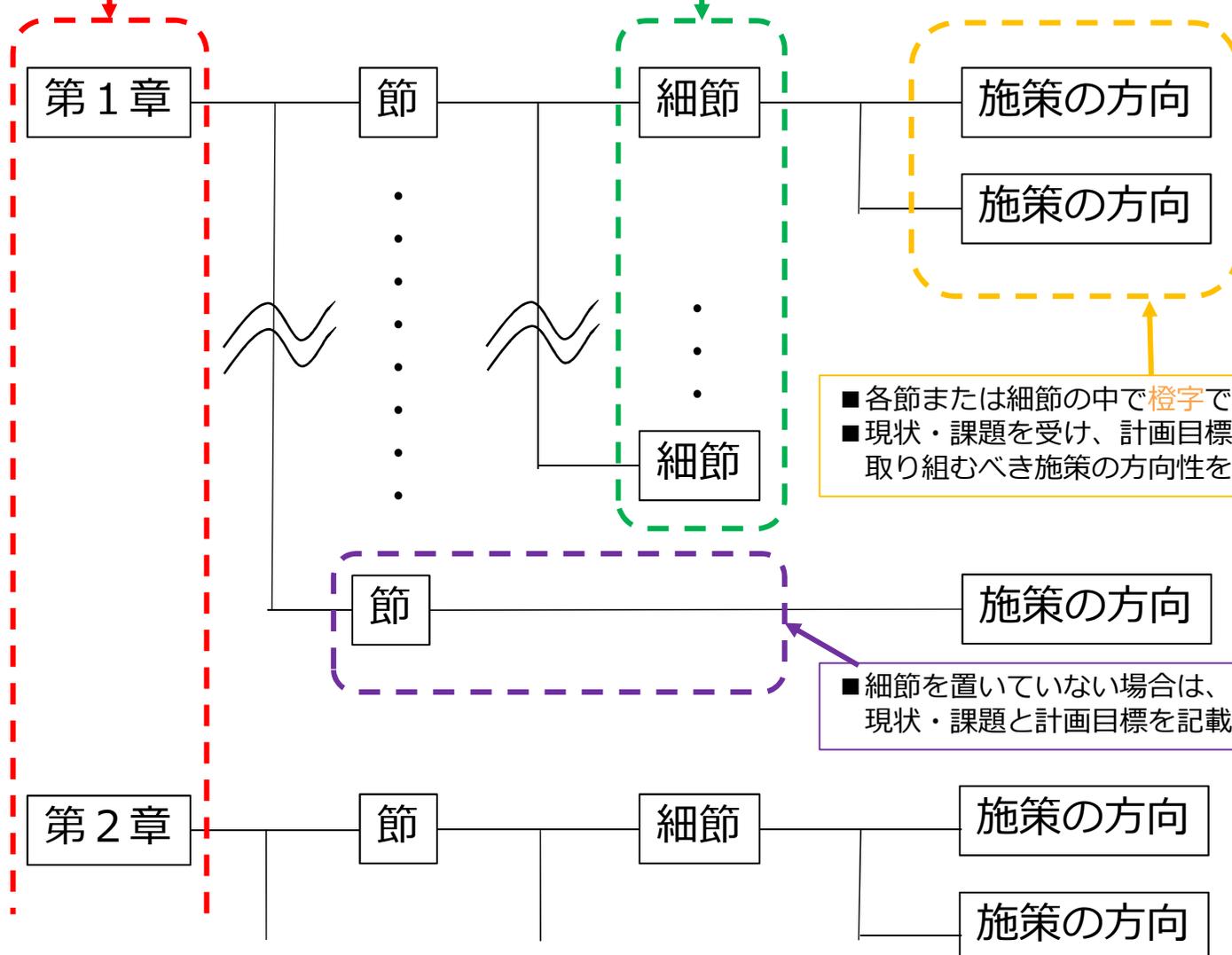
また、後期基本計画は平成28年度から令和2年度までの計画期間となっており、5つの施策の大項目（章）、22の中項目（節）を掲げ、各章各節において計画目標と施策の方向を設定し、市の将来像の実現に向けて、各種施策に取り組んできたところ。

本報告書では、基本構想で設定したまちづくりの将来目標の実績を検証するとともに、後期基本計画で設定した計画目標の達成状況を確認し、実施した施策の成果と、今後の課題・方向性についての確認を行った。



■ 第1章～5章で構成

- 各節の中で緑字で記載（例：「3. 高齢者福祉」）
- 現状・課題と、計画目標として数値目標等を記載



- 各節または細節の中で橙字で記載
- 現状・課題を受け、計画目標を達成するために取り組むべき施策の方向性を記載

- 細節を置いていない場合は、節の直下に現状・課題と計画目標を記載

## 2-1. まちづくりの将来目標についての検証（人口）

概要版

### ※総合計画における目標人口の定義

- ・・・他市町村からの通勤・通学者等、昼間の流入人口を含めた人口

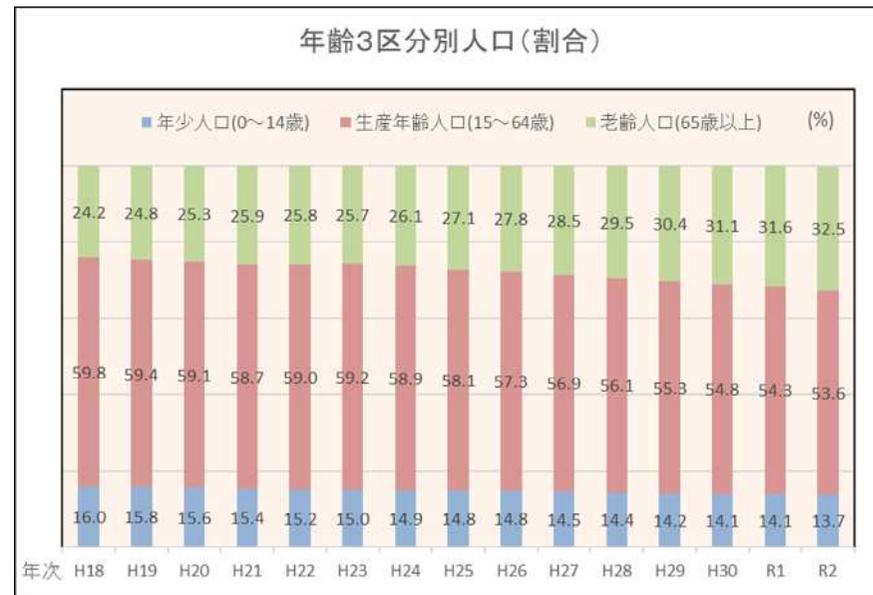
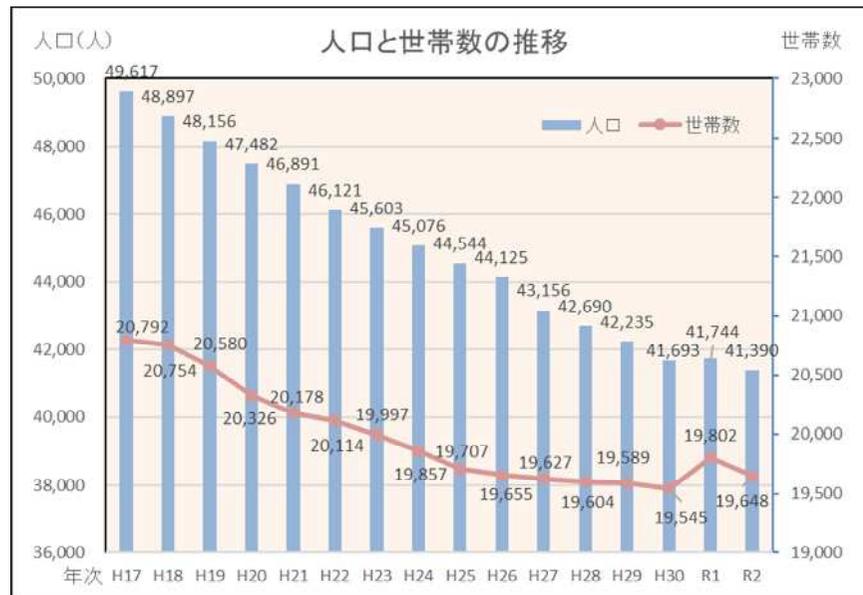
■ 令和2年目標	50,000人
■ 令和2年実績	41,609人
平成27年度実績	43,426人

※出典：国勢調査

奄美市の人口は減少傾向が続いており、目標人口には届いていない。

下段のグラフは、昼間の流入人口を除いた人口の推移等を示しているが、奄美市合併前の平成17年には旧3市町村合計で49,617人であったのに対し、令和2年には41,390人となり、8,227人（約16.5%）の減少となっている。なお、令和元年については前年から増加している要因としては、同年の陸上自衛隊奄美駐屯地の開設による自衛隊員及びその家族の転入が影響していると考えられる。

年齢階層別の推移をみると、15歳未満は減少、65歳以上が増加しており、少子高齢化の傾向である。また、年齢層ごとの転入－転出の差をみると、近年は22歳から60歳までの層で転入超過が続いており、18歳から21歳までの転入－転出の差が減少しつつある。



上記2グラフの出典：国勢調査及び鹿児島県の推計人口



## 2-1. まちづくりの将来目標についての検証（人口）

概要版



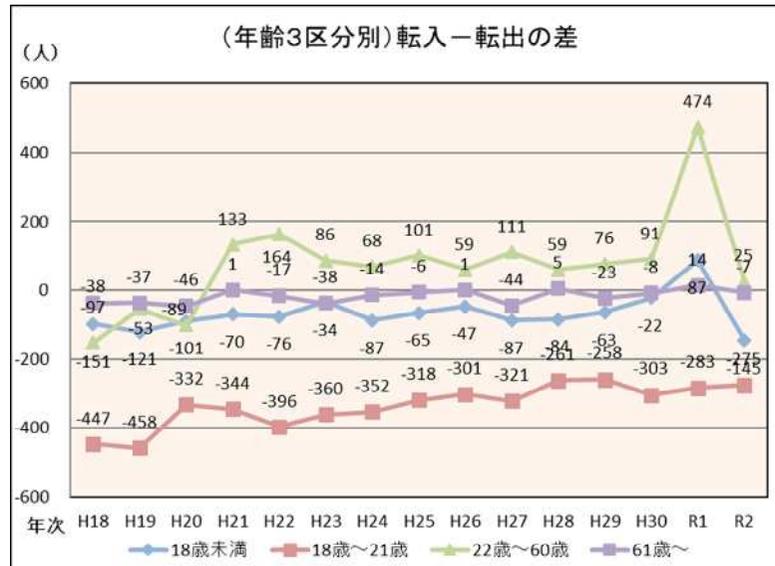
出典：鹿児島県の推計人口



出典：鹿児島県の推計人口



出典：鹿児島県の推計人口



出典：奄美市市民課資料

### ※総合計画における目標交流人口の定義

- ・・・奄美大島に空路・海路を利用して出入りする群島民をも含めた入込客数

■ 令和2年目標 450,000人

■ 令和2年実績 313,838人

入込客数については、格安航空会社による成田－奄美大島線及び関西－奄美大島線の就航や、クルーズ船の寄港回数の増加、鹿児島－奄美大島線への新規航空会社参入、奄美群島アイランドホッピングルートの運行開始などにより、令和元年までは増加の一途をたどってきた。

令和元年は、記録の残る昭和45年以降で最高を更新して約53万人の入込となり、令和2年の目標値45万人を大きく上回った。

令和2年については、新型コロナウイルス感染症の影響により、航空便は運休・減便が発生し、令和2年度中のクルーズ船の寄港もなかったことから、入込客数は大幅に減少した。



上記2グラフの出典：奄美群島の概況



- 令和2年目標 1,400億円
- 令和元年実績 1,294億円

奄美市の総生産額は、奄美市合併後の平成18年度約1,272億円から徐々に減少傾向となり、24年度には約1,112億円となった。

その後、増加傾向に転じ、直近の平成30年度には約1,256億円となり、合併当初と同水準となっている。

各分野ごとの生産額をみていくと、第1次産業は年によって変動があるが、これは台風災害等の影響が考えられる。

第2次産業は、全体の傾向と同様、合併後から減少傾向となり、平成25

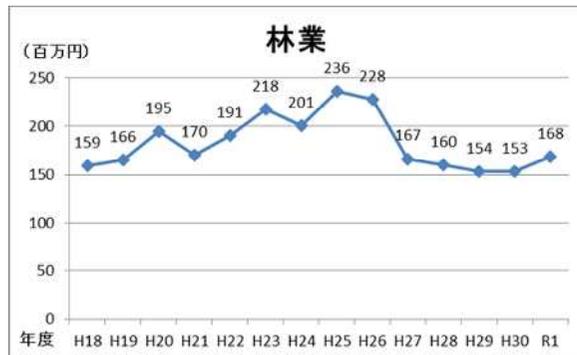
年度頃から28年度まで同水準で推移してきた。その後、28年度から29年度にかけて約45億円の増（約1.5倍）、29年度から30年度にかけて約36億円の増（約1.3倍）と、急激な伸びとなっているが、この要因としては建設業の生産額増加が影響している。奄美市役所本庁舎建設工事や、名瀬港本港地区マリントウン整備事業、自衛隊奄美駐屯地建設等の大規模公共工事や、民間賃貸マンション建設の伸びなどが要因と考えられる。

第3次産業は、全体の傾向と同様、合併後から減少傾向となっていたものの、平成25年度頃から増加傾向に転じているが、この要因としては、同時期からの交流人口増加による宿泊・飲食サービスの増加や、26年度から27年度にかけての情報通信業の増加などが影響しているものと考えられる。



出典：鹿児島県市町村民所得推計

## ■ 主な分野ごとの生産額推移（平成18年度～平成30年度）



上記9グラフの出典：市町村民所得推計

後期基本計画においては、5つの施策の大項目（章）、22の中項目（節）において、計67の計画目標を掲げ、各種施策を推進してきた。

ここでは、各計画目標の達成状況の全体を示すとともに、次々ページ以降で計画目標ごとの詳細を示す。

#### 【達成状況の評価基準】

Jisseki（目標年度における実績値）

Goal（目標値）－ Base（基準値）＝ Sabun（差分）

⇒  $Jisseki \geq Base + Sabun \times 90\%$  の場合 評価 A：順調

$Base + Sabun \times 90\% > Jisseki \geq Base + Sabun \times 50\%$  の場合 評価 B+：効果あり

$Base + Sabun \times 50\% > Jisseki \geq Base + Sabun \times 10\%$  の場合 評価 B：やや効果あり

$Base + Sabun \times 10\% > Jisseki \geq Base - Sabun \times 10\%$  の場合 評価 B-：横ばい

$Base - Sabun \times 10\% > Jisseki$  の場合 評価 C：悪化

### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

全体	項目数	割合	第1章	項目数	割合	第2章	項目数	割合
A	18	26.9%	A	4	23.5%	A	2	10.0%
B+	12	17.9%	B+	4	23.5%	B+	0	0.0%
B	11	16.4%	B	3	17.6%	B	5	25.0%
B-	3	4.5%	B-	1	5.9%	B-	0	5.0%
C	23	34.3%	C	5	29.4%	C	13	65.0%
総数	67		総数	17		総数	20	
第3章	項目数	割合	第4章	項目数	割合	第5章	項目数	割合
A	5	41.7%	A	3	33.3%	A	4	44.4%
B+	5	41.7%	B+	1	11.1%	B+	2	22.2%
B	0	0.0%	B	2	22.2%	B	1	11.1%
B-	2	16.7%	B-	0	0.0%	B-	0	0.0%
C	0	0.0%	C	3	33.3%	C	2	22.2%
総数	12		総数	9		総数	9	

【第1章】健康で長寿を謳歌するまちづくり

【第2章】観光立島を目指した多様な産業連携のまちづくり

【第3章】自然に囲まれた快適な暮らしのまちづくり

【第4章】地域の中で教え、学ぶ教育・文化のまちづくり

【第5章】魅力ある地域づくりに向けて

※割合については四捨五入の関係で合計は必ずしも100%にはならない。



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
第1章	健康で長寿を謳歌するまちづくり					
第1節	豊かな福祉社会の形成					
1.	地域福祉					
	災害時要援護者避難支援体制の確立	【参考指標】 地域における福祉活動を担う民生委員数	平成27年度 129名	令和2年度 135名	令和2年度 124名	C
	生活困窮者への支援強化による自立促進					
	自立支援相談件数	【参考指標】 自立支援相談事業利用件数	平成29年度 191件	令和2年度 336件	令和2年度 382件	A
	就労支援件数	【参考指標】 被保護者就労支援事業利用件数	平成30年度 13件	令和2年度 64件	令和2年度 31件	B
	子ども学習生活支援	【参考指標】 生活困窮者世帯の子どもに対する学習・生活支援事業利用件数	平成29年度 18人	令和2年度 40人	令和2年度 25人	B
2.	児童福祉の充実と子育て支援の推進					
	結婚組数(婚姻届出数)	本市に届け出のあった婚姻届数	平成27年度 214組	令和2年度 275組	令和2年度 180組	C
	毎年の出生数(出生届出数)	本市に届け出のあった出生届出数	平成27年度 359人/年	令和2年度 404人/年	令和2年度 285人/年	C
	待機児童数(3/31現在)	保育所等の入所申請を行い、入所待ちになっている3月末の児童数	平成27年度 111人	令和2年度 0人	令和2年度 26人	B+
	子育てサークルへの親子の利用組数	本市で確認されている子育てサークルの年間利用親子組数	平成27年度 942組	令和2年度 1,500組	◆令和元年度 949組	B-



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価	
3. 高齢者福祉	老人クラブ会員数	老人クラブの会員数	平成27年度 3,893人	令和2年度 4,150人	令和2年度 4,094人	B+	
	シルバー人材センター会員数	シルバー人材センターの会員数	平成27年度 345人	令和2年度 450人	令和2年度 329人	C	
	4. 障害者福祉	就労支援施設数	地域で自立した生活を送るための働く場、また居場所を提供する施設	平成27年度 8施設	令和2年度 10施設	令和2年度 20施設	A
		障害者グループホーム	障害を持った方々が職員の手助けを受け、共同生活する場所	平成27年度 5施設	令和2年度 6施設	令和2年度 7施設	A
		第2節 保健・医療の充実					
各種健診(検診)の受診向上	1歳6ヵ月児健診受診率	1歳6ヵ月児健診受診率	平成27年度 95.4%	令和2年度 100%	令和2年度 98.4%	B+	
	大腸がん検診受診率	大腸がん検診受診率	平成27年度 17.4%	令和2年度 20%	令和2年度 21.7%	A	
	子宮がん検診受診率	子宮がん検診受診率	平成27年度 33.6%	令和2年度 37%	令和2年度 35.4%	B+	
	乳がん検診受診率	乳がん検診受診率	平成27年度 40.1%	令和2年度 42%	令和2年度 39.6%	C	
	特定健診受診率	特定健診受診率	平成27年度 34.3%	令和2年度 50%	令和2年度 38.4%	B	

### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
第2章 観光立島を目指した多様な産業連携のまちづくり						
第1節 農林水産業の振興						
1. 農業						
	農業生産額	農業の生産額	平成27年度 17.3億円	令和2年度 21.8億円	令和2年度 16.5億円	C
	認定農業者数	認定農業者の人数	平成27年度 92人	令和2年度 100人	令和2年度 78人	C
	新規就農者数	新規就農者の人数	平成27年度 4人	令和2年度 6人	令和2年度 1人	C
2. 林業						
	林産物生産額	林業生産物の販売額	平成27年度 42,855千円	令和2年度 43,000千円	令和元年度 31,914千円	C
3. 水産業						
	漁獲高金額	名瀬漁業協同組合及び奄美漁業協同組合の漁獲高	平成27年度 437,830千円	令和2年度 440,000千円	令和2年度 279,413千円	C
	漁業従事者数(正組合員数)	名瀬漁業協同組合及び奄美漁業協同組合の正組合員数	平成27年度 159人	令和2年度 159人	令和2年度 144人	B
第2節 商工業の振興						
	年間商品販売額(小売業計)	市町村別小売業の年間商品販売額(経済センサス活動調査)	平成24年度 430億7,500万円	令和2年度 450億6,500万円	令和元年度 411億6,200万円	C
第3節 地場産業の振興						
1. 本場奄美大島紬の振興						
	生産反数、生産額の減少抑止	本場奄美大島紬協同組合における検査に合格した反物数	平成27年度 5,108反	令和2年度 5,108反	令和2年度 3,378反	C



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
	2. 奄美黒糖焼酎の振興					
	全体移出量の減少抑止	酒類の年間出荷量(課税移出数量)	平成27年度 7,512kℓ	令和2年度 7,512kℓ	令和2年度 7,251kℓ	B
	3. その他特産品の振興					
	奄美群島観光物産協会の物産展販売額	東京、大阪など都市圏で主催する物産展販売額	平成27年度 5,300千円	令和2年度 6,360千円	◆令和元年度 18,270千円	A
第4節	観光の振興					
	入込客数	航空路及び航路により、奄美大島へ入ってきた人の数	平成27年度 422,527人	令和2年度 450,000人	◆令和2年度 313,838人	C
	大型客船寄航回数	名瀬港へ寄港したクルーズ船の数	平成27年度 7回	令和2年度 20回	◆令和2年度 0回	C
	スポーツ合宿者数(延べ人数)	県外スポーツ団体による、奄美市でのスポーツ合宿延べ宿泊人数	平成27年度 9,880人	令和2年度 13,000人	◆令和2年度 8,033人	C
	奄美群島特例通訳案内士(平成28年度から実施)	特例通訳案内士の研修を新規で受講完了した者の人数	平成27年度 0人	令和2年度 20人	令和2年度 6人	B
第5節	情報産業の振興					
	情報関連企業就労者数	奄美市内の情報通信企業への独自調査による従業員数	平成27年度 725人	令和2年度 850人	令和2年度 759人	B
	情報関連企業数	奄美市独自調査による情報関連の事業を行う企業数	平成27年度 26社	令和2年度 36社	令和2年度 30社	B
第6節	雇用機会の拡大					
	雇用機会の拡大	ハローワーク名瀬から報告を受ける奄美市における有効求人倍率	平成27年度 0.76	令和2年度 1.00	◆令和元年度 1.15	A



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
第7節	産業連携の推進					
	一次産業の生産額等の向上					
	農業生産額(再掲)	農業の生産額	平成27年度 17.3億円	令和2年度 21.8億円	令和2年度 16.5億円	C
	林産物生産額(再掲)	林業生産物の販売額	平成27年度 42,855千円	令和2年度 43,000千円	令和元年度 31,914千円	C
	漁獲高金額(再掲)	名瀬漁業協同組合及び奄美漁業協同組合の漁獲高	平成27年度 437,830千円	令和2年度 440,000千円	令和2年度 279,413千円	C
第3章	自然に囲まれた快適なくらしのまちづくり					
第1節	生活基盤・環境の整備					
	1. 地域色を活かした土地利用の推進					
	中心市街地整備進捗率	末広・港土地区画整理事業、マリンタウン地区整備事業、都市再生整備計画事業の事業進捗率	平成27年度 59.3%	令和2年度 100%	令和2年度 進捗率: 93.9%	B+
	地籍調査進捗率	地籍調査の進捗率	平成27年度 30.8%	令和2年度 36.6%	令和2年度 36.7%	A
	2. 快適な生活空間の創出					
	土地区画整理整備率	着工中及び将来事業計画も含めた公共団体施行による土地区画整理事業の整備率	平成27年度 93.2%	令和2年度 97.2%	令和2年度 93.2%	B-
	市営住宅の未水洗化戸数(水洗化整備)	市営住宅の未水洗化戸数	平成27年度 252戸	令和2年度 106戸	令和2年度 173戸	B+
	汚水処理人口普及率	汚水処理人口普及率	平成27年度 93.5%	令和2年度 96.2%	令和2年度 94.9%	B+
	景観形成・環境保全活動支援事業実施団体数	本事業を活用し、景観形成や環境保全活動に取り組む団体数	平成27年度 34団体	令和2年度 117団体	令和元年度 77団体	B+



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
第2節	交通体系の整備					
	幹線道路整備率(幹線道路12路線)	道路改良の整備率	平成27年度 66%	令和2年度 71%	令和2年度 70%	B+
第3節	自然環境の保全と活用					
	1. 世界自然遺産登録への取組					
	国立公園の指定への推進	世界自然遺産登録の法的担保措置でもある国立公園の指定	未指定	国立公園の適正な管理の推進	指定済み	A
	遺産価値である奄美の豊かな自然環境の保全と希少な野生動植物の保護	【参考指標】 天然記念物のロードキル発生件数	平成27年度 6件	—	令和2年度 15件	—
	2. 資源循環型社会の構築					
	名瀬クリーンセンターへの一般廃棄物搬入量の20%以上削減	名瀬クリーンセンターへの一般廃棄物搬入量	平成27年度 17,827トン	令和2年度 14,262トン	令和2年度 17,760トン	B-
	ごみ焼却から発生するCO2排出量の10%削減	ごみ焼却から発生するCO2排出量	平成27年度 2,831t-co2	令和2年度 2,548t-co2	令和2年度 2,470t-co2	A
第4節	安全な地域づくりの推進					
	1. 防災対策・体制の強化					
	自主防災組織率	奄美市世帯数に対する自主防災組織が、カバーする世帯数率	平成27年度 56.4%	令和2年度 70.0%	令和2年度 87.9%	A
	2. 交通安全・防犯対策の強化					
	奄美市交通安全計画に基づく交通安全意識の向上と安全な交通環境の充実	【参考指標】 奄美市における交通事故死傷者数	平成27年 92人	令和2年 80人	令和2年 48人	A



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
	3. 安全な市民生活の確保					
	消費生活における被害防止や、その安全を確保するための情報提供、相談体制の強化	【参考指標】奄美市消費生活センターにおける相談件数	平成27年度 322件	—	令和2年度 300件	—
第4章 地域の中で教え、学ぶ教育・文化のまちづくり						
第1節 学校教育の充実						
1. 幼児教育						
	国の制度改革への適正対応	内閣府「子ども子育て支援法」改正等に適正に対応するため、規則改正など随時検討・施行する	—	—	—	—
2. 学校教育						
	学力の定着・向上が図られた学校	鹿児島学習定着度調査において県平均を上回る学校の割合	平成27年度 48%	令和2年度 57%	令和2年度 63%	A
	不登校生徒の割合(不登校生徒数/全生徒数)	不登校生徒数/全生徒数	平成27年度 4.7%	令和2年度 3.7%(中学生)	令和2年度 0.8%(中学生)	A
	奄美のよさを実感している児童生徒の割合	奄美のよさを実感している児童生徒の割合(奄美市教育ビジョンアンケート調査)	平成27年度 94%	令和2年度 100%	令和2年度 95%	B
3. 高等教育機関						
	大学等との連携事業数	本市と包括連携協定を締結している大学等と連携して実施する事業の数	平成27年度 5事業	令和2年度 10事業	令和2年度 11事業	A
	大学等設立に向けた可能性調査の実施	奄美大島に大学を設立又は誘致することの可能性を調査する。	—	—	—	—



### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
第2節	生涯学習の推進					
	1. 家庭・地域教育					
	訪問型家庭教育学級の創設	教育委員会から家庭教育学級への講師派遣	平成27年度 4回	令和2年度 6回	令和2年度 5回	B+
	2. 生涯学習					
	市民一人年間当たりの公民館利用数	市民一人あたりの公民館年間利用回数	平成27年度 3.9回	令和2年度 4.9回	◆令和元年度 2.6回	C
第3節	文化の振興					
	市民一人年間当たりの奄美振興会館利用数	市民一人あたりの奄美振興会館年間利用回数	平成26年度 4.8回	令和2年度 5.3回	◆令和元年度 4.0回	C
	市民一人年間当たりの奄美博物館利用数	市民1人年間あたりの奄美博物館利用回数	平成27年度 0.25回	令和2年度 0.4回	◆令和元年度 0.31回	B
第4節	スポーツ・レクリエーションの振興					
	市民一人年間当たりの体育施設利用数	市民1人年間あたりの体育施設利用回数	平成27年度 12.0回	令和2年度 14.0回	◆令和元年度 8.7回	C
第5章	魅力ある地域づくりに向けて					
	第1節 市民協働の推進					
	1. 市民と行政の協働					
	自治会・町内会の組織率向上(名瀬地区)	名瀬全域に自治会・町内会が設立されたとした場合の数を105組織(基礎定数)としたときの組織率	平成27年度 60%	令和2年度 70%	令和2年度 63.8%	B

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
	2. 男女共同参画社会の実現					
	審議会・委員会の女性登用率(地方自治法第180条の5及び第202条の3並びに本市規則・要綱に基づく審議会・委員会における女性登用率)	地方自治法または、市条例・要綱に基づく審議会・委員会の委員に占める女性の比率	平成26年度 14.9%	令和2年度 30.0%	令和2年度 22.6%	B+
	第2節 定住の促進					
	空き家バンク住宅登録件数	空家バンク制度の「貸したい」物件登録総数	平成27年度 3件	令和2年度 53件	令和2年度 32件	B+
	第3節 国際交流・地域間交流の推進					
	姉妹都市や友好都市等の交流人数	交流事業に参加した生徒数	5カ年平均(H23~ 27年度) 76名	令和2年度 90人	◆令和元年度 93人	A
	第4節 計画的・効率的な行財政運営					
	1.行政改革の推進					
	奄美市財政計画、実施計画、定員適正化計画の着実な実施	財政計画、実施計画に基づき計画的に施策を実施する。さらに、定員適正化計画に基づき適正な職員定数による行財政運営を行う。	-	-	着実な実施を図っている。	-

### 3-1. 各章における計画目標の達成状況

概要版

各章/節	計画目標	計画目標の説明	基準値	令和2年度目標値	直近の実績値	評価
	2. 行財政運営の確立					
	経常収支比率	経常経費(人件費、扶助費、公債費)に充当された一般財源が、経常的に収入される一般財源、臨時財政対策債の合計に占める割合を示す財政指標	平成26年度 91.2%	令和2年度 90%未満	令和2年度 93.4%	C
	実質公債費比率	財政規模に対する公債費の割合を示す財政指標	平成26年度 10.3%	令和2年度 10%未満	令和2年度 9.5%	A
	将来負担比率	財政規模に対する地方債残高の割合を示す財政指標	平成26年度 57.8%	令和2年度 50%未満	令和2年度 33.9%	A
	3. 行政情報力の向上					
	ホームページアクセス数	奄美市の公式ホームページを訪れた回数	平成27年度 783,630人	令和2年度 1,000,000人	令和2年度 1,110,016	A
	フェイスブックでの情報発信1回あたりのリーチ(閲覧)数	フェイスブックにおける1投稿あたりの平均閲覧数	平成27年度 3,190人	令和2年度 5,000人	令和2年度 2,026人	C
	第5節 広域行政の推進					
	観光/交流、移住・定住をはじめ、圏域における共通課題の解決等に向けた積極的な広域連携の実施	【参考指標】 共同処理する事務事業の件数	平成27年度 13件	—	令和2年度 15件	—





**奄美市総合計画（後期基本計画）  
検証報告書  
【内部検証結果】  
概要版**

編集・発行 奄美市  
〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号  
TEL 0994-52-1111 FAX 0997-52-1001

